いじめゼロ子どもサミット２０１５基調提案（骨子）

別添資料３

「なぜ、みんなに集まってもらったのか？」

Ｑ１　香川県では、１年間にいじめで苦しんでいる小・中学生が何人くらいいるのだろう？

A.１　約４３０人（小・中学校数230より多い。全国でも少ない方から６番目）

Ｑ２　でも、この数は学校の先生がつかんでいる数字だから、ひょっとすると、あなたの学校にも、いじめられ

ていることを誰にも相談できずに悩んでいる仲間がいるかもしれません。いると思いますか？

A.２　「いるはず」という高い意識が必要です。数字に表れずに苦しんでいる友達も救いたいよね。

　「香川県に多いいじめ、最近増えてきたいじめ」

Ｑ３　香川県の小・中学校では、どんなタイプのいじめが多いのだろう？

A３　.①言葉、②暴力、③仲間はずれ、④物かくし、⑤ネット

Ｑ４　いじめのきっかけは、ほんの小さなことなのに、それを止められないのはなぜ？

A４　.冗談やからかい、けんかやトラブルと「いじめ」との境目が分かりにくいから？あなたは、どう思う？

「頭でわかっていてもその先の行動化につながらない」

Ｑ５　「いじめはどんなことがあっても許されない」と思う香川の小中学生は増えてきているのだろうか？

A５　.小学生は約80％、中学生は約70％。この割合は、サミットを開催した年に、ぐんと伸びています。

Ｑ６　「いじめられている人をみかけたらすぐに助ける」という人は、どれくらいいるのだろう？

A.６　「すぐに助ける」と答えた人と、「方法が分からないので迷う」と答えた人が半分半分。

「今回のサミットのテーマに込めた意味とは。」

Ｑ７　テーマ「感じ、考え、行動しよう」に込められた意味は？

A.７　①感じること、②考えること、③行動すること、この３つは、いじめを防ぐために必要不可欠。特に、行動すること大事にしたい。本当にいじめに有効に働く手段を見付けたいから。だから、演劇という手法を選んだ。深刻ないじめにエスカレートしない行動を見付けたい。